

山南中だより 3月号

令和7年3月24日 発行
丹波市立山南中学校
丹波市山南町谷川 1348
TEL: 88-5730



山南中学校ホームページから見るができます。(URL: <http://www.tamba.ed.jp/site/sannanj/>)

学校教育目標

地域に誇りを持ち 豊かな人生を切り拓く生徒の育成
～ふるさと山南で育む つなぐ・ひろげる・つくりだす力～

令和6年度を振り返って

開校2年が過ぎようとしています。統合前の準備期間から考えると大変長い道のりでしたが、振り返るとあっという間だったようにも感じられる不思議な感覚です。いよいよ3月末で統合前の両中学校に在籍した生徒はすべて卒業し、4月からは、すべての生徒が入学した時から新しい山南中学校で過ごしていく生徒となります。

今年度の3年生は、旧山南中と和田中の最後の入学生であり、2年生で統合した学年です。友達関係や生活リズムが落ち着いた頃に環境が一変することとなり、開校時の3学年の中では、生徒自身が不安な気持ちを1番抱えながら統合した学年でした。しかしながら、生徒たちは両校の伝統を引き継ぎながら、開校2年目の学校づくりに尽力し、仲間との絆を深め、一人ひとりが大きく成長しました。

2年生は、授業や行事、部活動に充実した日々を過ごしました。運動部では、夏休みから最高学年として後輩をリードし、新人戦では各競技で先輩に負けにくいくらい優秀な成績を収めました。来年度は新生徒会本部役員を中心に最高学年として、自分たちで創る自分たちの学校づくりを盛り上げ、前へ進めていくことと期待しています。

1年生は、ようやく中学校の1年の流れを知りました。この1年間は、先生や先輩から教えてもらいながらすることが多かったと思いますが、2年生では今まで以上に自分で考え、判断して、行動する場面が増えていきます。先輩として1年生の良き手本となれるように頑張ってください。

この1年間、ご協力をいただきました保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の方々に、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。今後ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

～ 来年度に向けて家庭でもご指導ください ～

① 自転車での登下校について

ヘルメットのあごひもをきちんとしていたので、幸い大事には至りませんでした。下校時に車と自転車が衝突する事故が発生しました。また、ヘルメットのあごひもや安全タスキをしていない生徒、寄り道をして買い食いをしている生徒を指導することがありました。通学路、交通ルールを守りましょう。

② バスでの登下校について

停車中のバスの陰から道路へ飛び出して乗用車と接触しそうになった件、降りないのにいたずらにバスの降車ボタンを押した件で指導することがありました。マナーを守って公共交通機関を利用しましょう。

③ 持ち物への記名、管理について

名前が書かれていない体操服、ジャージ上下、ブレザー、セーターなど、あちこちで置きっぱなしにされた物を長い期間展示して呼びかけていますが、持ち主が分かりません。持ち物には必ず記名しましょう。

「山南中だより3月号 Web版」では、卒業式の「在校生送辞」と「卒業生答辞」の全文を掲載しています。山南中学校のHPまたはこちらのQRコードからご覧ください。



3年生を送る会

3月10日（月）には、生徒会本部役員の企画・運営により、「3年生を送る会」を開催し、これまでお世話になった3年生の先輩とともに全校生徒で楽しい時間を過ごしました。「山南中博士は誰だ？山南中クイズ」「クラスで輪を繋げ！一致団結フラフープリレー」「思い出のスライドショー」など、工夫を凝らした楽しい企画とともに、山南中生みんなで楽しく盛り上がるパワーは素晴らしいなぁと改めて感じました。また、この会を催すにあたって、生徒会本部役員は、3年生にアンケートをとったそうです。送る側の一方的な思いだけ企画ではなく、主役となる3年生の思いをしっかりと汲み取りながら企画や準備を進めていったことに大変感心しました。本当にありがとう。これからの活躍も楽しみにしています。



第2回卒業証書授与式

3月14日（金）は、卒業証書授与式を挙行し、たくさんの3年生保護者の皆様や来賓の方々に卒業生の晴れの姿を見届けていただきました。天気も92名の卒業生の晴れやかな気持ちを表すかのように、澄みきった青空が広がっていました。最高学年として凛とした姿で卒業証書授与式を終え、胸を張って山南中学校を巣立っていく3年生の姿を誇らしく思いました。3年生のみなさん、心から卒業おめでとう！！



在校生送辞／卒業生答辞 ～第2回 卒業証書授与式～

《在校生送辞》

冬の寒さがやわらぎ始め、陽の光やそよ風の温かさに春の気配を感じられるようになりました。本日、この良き日に山南中学校卒業を迎えられた三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

皆さんは、旧山南・和田中学校の最後の入学生でした。2年生の時、2つの学校が統合し、新しい校舎・初めての出会いが訪れ、わくわくと緊張が同時に訪れたことでしょう。皆さんは私たちの先輩として、生徒会活動や部活動で、優しく、時に熱心に私たちをリードしてくださいました。

先輩方は常に私たちのあこがれの存在でした。年齢が1つ違うだけなのに、どれほどその背中が大きく見えたことでしょう。さらに、行事が訪れるたびに先輩方の存在の大きさを知ることとなりました。

9月に行われた体育祭では、私たちの知らない所で試行錯誤を繰り返し、練習から準備、本番まで、熱い気持ちのこもった姿に心が大きく動かされました。先輩方に励まされ、自分たちも頑張ろうという気持ちを持つことができました。最後のリレーの応援は、今でも忘れられないほどで、脳裏に焼きついています。体育祭スローガン「ワンチーム」を見事に達成し、みんな一緒に体育祭を締めくくることができました。

それから文化祭。合同練習の時、聞かせてもらった先輩方の歌声は、自分たちとの差が明らかで驚きました。本番でも美しい歌声が体育館中に響き渡り、多くの人の感動を与える合唱でした。そして演劇では、一人一人が主役となり、心のこもった劇づくりで、クラスの団結力が感じられました。

順風満帆な中学校生活を送っていらっしやるように見えた先輩方。皆さんにも悩みはあったのでしょうか。物事にうまくいかず、一人で涙した日がありましたか。

私たちが今抱えているような悩みを、先輩方も一度は経験し、悩んでこられたのでしょうか。しかし、どんな困難時も逃げずに一生懸命に取り組んでおられる姿は本当にかっこよく、あこがれの存在でした。

いつも思いやりがあって、おおらかな先輩方をとても尊敬しています。今は頼りない私たちですが、1年後には先輩方のように笑顔で卒業できるよう、何事も真剣にあきらめず努力していきます。

これから進む道はそれぞれ違って、この3年間、共に学び、共に笑いあい培ってきた絆や思い出は、かけがえないものとなっていることでしょう。山南中学校で過ごした日々を力に、輝かしい未来を切り拓いていってください。先輩方の明るい前途をお祈りして、送辞とさせていただきます。

令和7年3月14日 在校生代表 吉岡 大吉

《卒業生答辞》

新型コロナウイルスが流行している中、少し大きな制服を身にまとい、私たちは、それぞれ山南中学校と和田中学校、別々の門をくぐりました。それぞれの校舎で行われる最後の入学式、私たちにとっては、新しい仲間への期待と、新しい環境への不安で胸がいっぱいでした。初めて校舎に入る時のワクワクした気持ちと、うまくやって行けるのかという不安な気持ちが入り混じり、とても複雑な気持ちになったことを覚えています。それでも、入学式の後には、中学生としての自覚を少し持てたように思います。今、思い返せば、先輩方の優しい声かけがあったからかもしれません。それから、いろんな行事がありましたが、先輩方の姿を見て自分たちもあんな風になりたいという強い憧れと、クラスのみんなとの協力のおかげで、何とか乗り越えられました。一人では乗り越えられなかったようなことも、仲間と一緒に乗り越えることで絆が深まり、次第に不安は楽しさへと変化していきました。

山南中学校と和田中学校が統合した2年生。慣れていた学校生活がガラッと変わり、新しいスタートの年となりました。後輩もでき、今度は自分たちが憧れてもらえる先輩になろうと、そして、3年生をしっかり支えられる後輩になろうと心に決めました。6月のトライやるウィーク。色んな人に関わるなかで、社会ではあいさつなどの当たり前なことが大切なのだと感じました。普段あまり見ることでできない仕事の裏側を知り、将来について考えるとてもいい機会になりました。また、新たな伝統を築いていかないといけないこの年に、先輩方は素晴らしい土台を作ってくださいました。9月の体育祭。3年生が必死に考えた計画を壊さないように、3年生の指示がしっかりと1年生にも届くように自分たちにできることを精一杯やりぬきました。11月の文化祭。修学旅行で行く沖縄について調べ、劇を行いました。クラスの枠を越えて学年みんなで協力して過ごした時間は、とても楽しい時間になりました。先輩方が築いた山南中学校の伝統を、次は自分たちがさらにステップアップさせるという大きな使命感と、本当にそんなことができるのかという少しの不安を感じました。しかし、この1年が、私に、私たちに、3年生としての自覚を持つ時間をくれました。

そして、いよいよ3年生。山南中学校で過ごす最後の年になりました。1年生の頃から待ちに待った修学旅行。

1日目は、戦争について深く考える日になりました。平和記念公園で、一面に広がる沖縄の青い海と、亡くなられた方々の名前が彫られた石碑を目にしたとき、多くの犠牲の先に今の平和な時代があるのだと痛感しました。2日目は、沖縄の文化と触れ合う日になりました。普段できないマリンスポーツやシーサー作り、民泊体験を行いました。民泊体験では、ガイドブックに載っていない、地元の方しか知らないような穴場スポットに連れて行ってくださったり、美味しい沖縄の料理をふるまってくくださったりと、まるで久しぶりに会う親戚のように愛情を注いでくださりました。おかげで短いけど、とても濃厚な時間を過ごせました。お別れは、寂しかったです。でも、最後まで明るく笑顔で見送ってくださる姿は、自然と私たちを笑顔にしてくれました。3日目は、改めて仲間の大切さを感じる日になりました。少し離れていただけだけど、国際通りで思う存分買い物を楽しみ、一緒にアイスを食べ、歩く時間に話は絶えず、この仲間といれる時間の尊さを感じました。そして、遠く離れた家族のことを考えました。沖縄ではたくさんのことについて学び、本当に充実した3日間になりました。

2学期に入り、体育祭練習が始まりました。中学校生活最後の体育祭を最高のものにしようと、ブロックリーダーを中心に団結してきました。ブロックリーダーは夏休みから集まり、去年を越えようと、様々な応援の方法を考えてくれました。大人数に指示をすることは思っていたよりも難しく、最初はうまくできずに何度もみんなで話し合いました。諦めず何度も説明し、試行錯誤していくうちに、ブロック全体が団結していくのを感じました。そして迎えた本番、各ブロックの思いが詰まった団旗と応援の声、競技をする人たちの背中を押し、山南中学校の生徒全員がワンチームとなり、仲間と共に駆け抜けた最高の体育祭となりました。

秋も深まり、文化祭の準備が始まりました。今年は、去年と違い2日間の文化祭となりました。1日目は生徒会のオープニングから始まり合唱コンクール。最初はクラスで息が全然合わなくて、本番が不安でたまりませんでした。けれど、練習を重ねるごとにだんだん歌声がひとつになっていき、本番への不安よりも、待ち遠しさが勝っていきました。各クラスが練習の成果を発揮し、美しい歌声を体育館全体に響かせることができました。2日目の演劇発表。時間がない中での準備も、みんなが目を輝かせ、クラスのために自分ができることを考えた結果、最高の演劇を作り上げることができました。2日間とも、雨が降る中の開催となりましたが、山南中学校にいた全員の笑顔が咲き誇る、とても素晴らしい文化祭となりました。

3年生になってから、常に「受験生」という言葉が付いて回り、勉強に対する緊張感のようなものを感じました。まだ余裕があると思っていた時間は、あっという間に過ぎてしまい、次第に焦りを感じてきました。受験に関する書類を書く機会が増えてくると、それはますます強くなりました。勉強しなければならない範囲も広く、どこから手をつけていいか、何をしたらいいのかわからなくなり、一人になると自分がやっていることは正しいだろうかと不安になりました。そんな時、学校は唯一の楽しみでした。友達と話しているときは、「自分は孤独ではない」と、不安が和らぐからです。受験という高い壁は、一人では決して立ち向かえなかったと思います。中学校生活の最後の最後まで、私たちは仲間と支え合ってきたのだと実感しました。

在校生の皆さん、今日まで私たちを支えてくれて本当にありがとうございました。皆さんとのかけがえのない日々も、私たちの最高の思い出のひとつです。1年後に卒業する2年生、卒業なんてまだまだだと思っている1年生、3年間はあっという間です。友達との何気ない日常を当たり前と思わず、一日一日を大切に過ごしてください。これが、私たちからの最後のアドバイスです。

また、私たちがこうして成長できたのは、先生方の教えのたまものです。いつでも私たちのそばにいて、時には、気軽に話をしてくださりました。時には、真剣に話を聞いて私たちに進むべき道を示してくださりました。授業は私たちが分かりやすいよう、様々な工夫をしてくださり、私たちへの深い愛情を感じました。ありがとうございました。そんな先生たちの姿をこれからも、私たちの目標とさせていただきます。

そして、私たちが一番つらい時、苦しい時、いつもそばにいてくれた家族。難しい年頃で反抗的な態度をとってしまったこともたくさんありました。言葉にはしてこなかったけど、今日まで、ずっとずっと感謝していました。ここまで育ててくれてありがとう。これからも迷惑をかけるかもしれないけど、いつか立派になって恩返しをしたいと思います。それまで待っていてください。

最後に、3年間ともに学校生活を送ってくれたみんな。本当にありがとう。思えば不安の多い3年間でした。それでも、みんなと過ごしたささやかな日々の中には、かけがえのない喜びがありました。これからも私たちはずっと心でつながっています。つらくなった時は、仲間の顔を思い出してください。私たちの学年は、互いに団結し、幸せを自分たちで作りだす事のできる、どこよりも優れた学年です。

私たちは卒業し、それぞれの夢をつかむためにこれからも果てしない道を歩んでいきます。私たちは3年間の思い出と旅立ちの勇気を胸に、一人一人のステージに進みます。